

解答用紙

受験者 氏名	マルチャン
-----------	-------

受験者シールのバーコードシール
1枚をこの上に貼り付けてください。

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

CLは、化粧品会社の研究開発部門にJOB型雇用で入社し2年目になるが、職場の人間関係について働きがいがおぼろげ、研究開発の仕事に対して、自分に向いていないという感覚が持てない事から、続ける事が出来ず相談に来た。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。

- ① 良 CLの感情に焦点を当てて問いかける事で、人間関係や仕事に対する気持ちや不満を具体的に話した点。
- ② 悪 この仕事の日常的な当り前という部分からなぜ自分に向いていない感覚が持てない事なのか、自分では聞けなかった点。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 CLの問題点は、次の2点である。(1) 職場の人間関係を理由に仕事を続ける事が出来ず不安を抱えている点。(2) 研究開発の仕事が自分に向いていないと思えないという気持ちから自己理解不足。
- ② その根拠 (1) JOB型雇用なので、たとえ研究開発の仕事がおもしろいとしても、人間関係を理由に働きがいが無いと感じている点。(2) 研究開発の仕事がワクワクして楽しいという気持ちと、わからない事を突き詰めるという子どもの頃からの日常的な当り前なので、自分に向いていないと思えないという矛盾した感情。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

この後は、個性的で主義主張の激しい先輩に論破され、納得しきれない状況に陥る。状況に応じて、(1) 話を聞いてくれる人がいない状況に対して、近い状況の仲間や話を聞いてくれる上司等の存在の認識をし、一人で抱えることなく、誰かに気持ちを打ち明ける様、一緒に考える。(2) 研究開発の仕事に対して、遠くまで正解まで前進するという感覚と、わからないことを突き詰めるという子どもの頃からの日常的な当り前の事の共通点に気づいてもらい、そこにワクワクして楽しいと思える気持ちが、ある事に対して改めて考えてもらう。そして、研究開発の仕事は、CLにとって、やりがいを持って続けられると思える様、支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。